

2003年大意

ヴァガボンド号：北極圏一周

ヴァガボンド号は、凍りに覆われた海を帆走できる目的で作られた探検旅行ヨットである。2000年より船長のエリック・プロシエは、研究者、スポーツマン、芸術家、北極圏に情熱を注がれた方などが利用できるユニークなロジスティック・サポート、移動式海上基地として備わるように努めてきた。

2002年5月12日、ヴァガボンド号は、北極圏で越冬するつもりで一年分の食料品や装備を載せ、シベリアに向かいフランスブルターニュ地方の **Saint-Quai-Portrieux** 港を出た。

2002年8月31日、ヴァガボンド号は、砕氷船なしで、または**越冬せずに北東航路**を帆走することに成功した**初めてのヨット**になった。乗組員は、アラン・ボンバル、フランスヨットクラブ、ロアル・クルージング・クラブ、オーシャン・クルージング・クラブなどから賞を受けた。

2003年4月1日、越冬した**カムチャッカ**を出、**長く心待ちしていた**、船長の生まれた**名古屋市**への到着を喜び、5月の終わりには大事なセーリング・イベントに参加する予定である。

2003年6月、ヴァガボンド号は北太平洋を渡りベーリング海峡まで帆走する。ラ・ペルーズの通った航路をなぞり、有名な探検家のヴィテウス・ベーリングにちなんだベーリング島に向かい、シャーマンの地であるチュコットカイトグラン島の **Whale Alley** を経由でベーリング海峡の裏にあるセイウチ猟村のウエレンに停泊する。

2003年7月氷の状態が良くなった時点でヴァガボンド号はアラスカとカナダ経由でベーリング海峡とグリーンランドを繋ぐ航路である北西航路に入る。初めての北極圏一周に成功する他（[地図参照](#)）ヴァガボンド号は、最適な設備を使用し専門家と協力しながらフランクリンが失った沈没船のテラーとエレブスの位置を定める作業に取り掛かる。

ヴァガボンド号は、故郷の **Saint-Quai-Portrieux** に2003年10月に到着する見込みで、そして氷の状態を見て12月にパリのボートショーに出展する予定。

2003年の春、2002年の**北東航路冒険談**が発行され、フランス・テレビジョン放送局が52分のドキュメンタリー番組を放送する。冒険の続きである北西航路帆走は、インターネットによりライブで伝え、フランスに帰国した後もドキュメンタリー、本、フランス内外で講座などにより皆様と共に再体験。

この意欲的な計画を支援し、冒険を共にして頂くようにヴァガボンド号の乗組員と親密なパートナーになる**スポンサー**を捜しております。ヴァガボンド号乗組員チームの連帯感や決心を味わうことにより北極圏の素晴らしい土地や民族に触れるまたとないチャンスになるだろうと私達は自負しております。

これからの協力計画を立てるために、今スポンサーになって頂ければ大変助かります。船内へ、ようこそ！お待ちしております。

aol.com

メール：[ebrossier @](mailto:ebrossier@aol.com)